

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生命の科学（ストレス応答機構）				学期	曜日	校時
英語名	Life Sciences (Stress Response)						
担当教員名	鈴木 啓司	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	木曜日 1校時
授業のねらい・内容・方法							
地球上に生存する生命は絶えず周囲の環境から刺激（ストレス）を受けそれに応答しながら存在しています。生命を構成する個々の細胞もストレスに応答する巧妙なメカニズムを進化させてきました。この授業では、生物のストレス応答の分子メカニズムを解説することを通じて、生命が存在するということの意義を考察します。授業は、講義室におけるパソコンプロジェクターを用いた講義を中心に、Q&A および理解度到達試験を折り込んだものとします。							
テキスト、教材等							
テキストは指定せず、必要に応じてプリントなどを配布します。また参考図書はそのつど指示します。							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	規定の日数授業に出席した学生についてのみ成績を評価します。理解度は筆記試験およびレポートを併用して評価します。						
授業計画							
1回目（4月14日）	総論1：ストレス学概要（ストレスとは何か？を概説する）						
2回目（4月21日）	各論1：ストレスの種類とそのメカニズム						
3回目（4月28日）	各論2：放射線ストレスとその応答の仕組み（1）						
4回目（5月12日）	各論3：放射線ストレスとその応答の仕組み（2）						
5回目（5月19日）	各論4：放射線ストレスとその応答の仕組み（3）						
6回目（5月26日）	各論5：温熱ストレスとその応答の仕組み（1）						
7回目（6月2日）	各論6：温熱ストレスとその応答の仕組み（2）						
8回目（6月9日）	各論7：紫外線ストレスとその応答の仕組み（1）						
9回目（6月16日）	各論8：紫外線ストレスとその応答の仕組み（2）						
10回目（6月23日）	各論9：酸素ストレスとその応答の仕組み（1）						
11回目（6月30日）	各論10：酸素ストレスとその応答の仕組み（2）						
12回目（7月7日）	総論2：ストレスと進化（生命進化に対するストレスの関与を解説する）						
13回目（7月14日）	総論3：ストレスと疾病（ストレスが引き起こす病気について解説する）						
14回目（7月21日）	総論4：ストレスからの回避（ストレスを軽減し健康を保つ手段を解説する）						
15回目（7月28日）	試験						
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：随時可能。E-mail による質問も随時可能。 E-mail アドレス：鈴木啓司；kzsuzuki@net.nagasaki-u.ac.jp</p>							